



自ら考え 自ら判断し 自ら動く人を育てる
「主体性向上研修」(紹介資料)



株式会社 入江感動経営研究所

代表取締役／中小企業診断士 入江 元太

<http://irie-kando.com/>

g-irie@irie-kando.com



はじめに

この度は、提案の機会をいただき、誠にありがとうございます。

わが国には「熱意あふれる会社員が6%しかない」（2017/Gallup）「読書や勉強などの自己啓発を何もしていない会社員が46.3%もいる」（2019/パーソル総合研究所）というデータがあります。いかがでしょうか。あなたの会社では、大丈夫でしょうか。

なぜこのような問題が起こるのか。その原因の一つに、国民一人ひとりの主体性の低下、が挙げられます。「どうせオレ一人がんばったところで何も変わらない」病です。主体性がない・自分から何もしない・依存的・指示待ち人間が増加しています。このままでは、会社で発生する問題・課題に対し、自ら主体的に解決する人は誰もいなくなってしまうです。

だからこそ、社員一人ひとりの「主体性」が問われます。「自ら考え 自ら判断し 自ら動く人」を育てる必要があります。

本研修では、主体性を育むための「理論」と、現場での「実践」で、あなたの会社の社員の主体性を育みます。社内で発生している問題・課題を主体的に解決することで、業績向上に貢献します。

導入について、どうぞご検討くださいませ。

2021年2月

株式会社入江感動経営研究所

代表取締役 入江 元太

Agenda

1. 講師紹介
2. 研修目的・特徴
3. 研修概要（テキスト抜粋）
4. 受講者さまの声（研修報告書）
5. 概算御見積書

入江 元太 (いりえ げんた)

受講者の変化にコミットする研修講師

「人財育成の教科書」著者

中小企業診断士

株式会社 入江感動経営研究所 代表取締役

<https://iriekando.com/>



1975年福岡県生まれ。東京育ち。1997年に慶應義塾大学を卒業後、日本電気株式会社（NEC）に入社。日本コンサルティングブレーン株式会社を経て、2010年に株式会社入江感動経営研究所を創業。

「人財育成で人と組織を元気にする！」を理念とし、①「受講者の行動変容が継続する人財育成研修」提供 ② 自ら考え 自ら判断し 自ら動く「主体性高き人財」育成 ③「人財育成の内製化」支援 を全力で行っている。

2009年に初めて新人研修に登壇し、人が変わる瞬間を共創できたことに感動し、以来12年間、人財育成講師道を邁進。研修が楽しくてしかたない！そんな日々を送る。

2014年、ひさびさに再会した経営者から「研修しても、結果、何も変わらなかった・・・」と打ち明けられ、愕然とする。世に「打上花火型研修（その場は変わるがすぐ元に戻る）」が多いと思っていたが、結局は自分も「打上花火型研修」しかできていない。ショックを受ける。以来「どうすれば人と組織は変わるのか」「どうすれば人と組織は変わり『続ける』のか」を追求し、その共通項抽出、実践、検証、改善というPDCAを回し続ける。結果、「離職ゼロ化」「志望者倍増」「業績V字回復」などの成果を共創。

こうした実践から得た理論と成果を「人財育成五元論(TM)」として体系化し、2020年9月に「人財育成の教科書」（クローバー出版）を上梓。

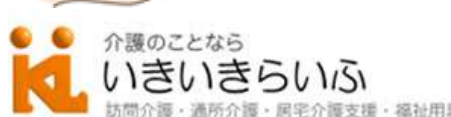
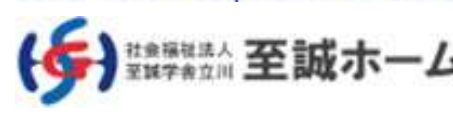
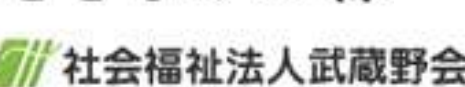
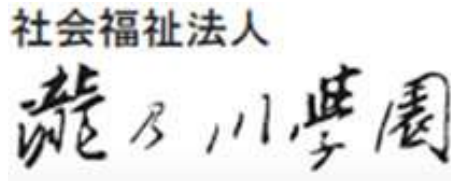
コロナ禍・オンライン化にもいち早く対応し、オンライン研修・セミナー実績50回以上。毎日のようにZoomを利用し、日々実践に余念がない。研修実績は、一部上場企業や、日本初の認定こども園など、累積200社、1,000回、10,000名以上。



Inter Reha
Advanced Rehabilitation and Healthcare



Car Life Service TAMA Vehicles



「人財育成」の教科書

～指示待ち人間ゼロの組織をつくる5つの鉄則～

<https://amzn.to/2DngbVu>

(3大ご購入特典贈呈中！)

おかげさまで、**アマゾンレビュー4.6点！** ありがとうございます！

「経営者やリーダーだけでなく、子育て、自分育てにも大いに役立つ」

「最近購入した本ベスト5」

「学校の先生にも読んでいただき実践してほしい」

「一般的なhow to本とは一線を画し、本質的な学びになった」

「相手に動いてもらうための名著」

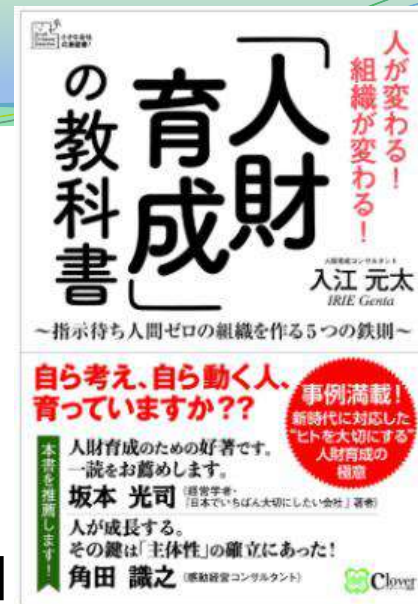
「読みやすい、凄く頭の中にスッと入る内容」

「今日から実践できる内容が盛り沢山」

「自分の考えの整理が出来て、まさに教科書」

「人として成長する為のノウハウが詰まっている。幸せになる為のカギ」

「ウイズコロナで外部環境が激変している今だからこそ必要な人材育成の視点と、
どんな時代でも不変な原理原則としての人材育成の視点を、両面から学べる一冊」





研修目的

自ら考え、自ら判断し、自ら動く「自立型人財」を育成する。

研修目標

- ① 自部門がさらに輝くための設計図を描く
- ② 自分自身がさらに輝くための設計図を描く。
- ③ 自部門の方向性と、わが人生の方向性を合致させる
- ④ その設計図を実現するためのPDCAを自ら主体的に回す。
- ⑤ PDCAを回し続けることで、自分の成長と、自部門への効果を体感する。
- ⑥ 「やることを決め、決めたことをやる」人財になる。
(脱・決めたことをいつの間にかにやらなくなる人間)
- ⑦ 研修の最後にプレゼンテーション大会を開催し、熱く決意表明をする。
主体性を発揮し続ける節目とする。

研修の特徴

- ① 人の主体性を高める理論・根拠がベースにある。(資質能力三本柱・人財育成五元論)
- ② 演習で記入・発表する「理想の会社 設計図」「理想の自分 設計図」「G-PDCA Chart」に根拠と実績がある。
- ③ 3～4人でチーム編成し、一人ひとりが主体的にG-PDCAを回せるようになるようメンバー同士で実践報告会を開催し、相互フォローする。うまくできないチームには講師も入り、できるようになるまで伴走するから、必ずできるようになる。(成果保証)

研修プログラム

第1講 月 日 ()	第2講 月 日 ()	第3講 月 日 ()	第4講 月 日 ()	第5講 月 日 ()	第6講 月 日 ()
【G-PDCA】 研修目的 自己紹介 資質能力三本柱 人財育成五元論 G-PDCA Chart 楽しい宿題！	【理想の部門1】 G-PDCA 実践報告 「理想の部門」 設計図を描く 楽しい宿題！	【理想の部門2】 G-PDCA 実践報告 「理想の部門」 設計図精度向上 楽しい宿題！	【理想の自分1】 G-PDCA 実践報告 「理想の自分」 設計図を描く 楽しい宿題！	【理想の自分2】 G-PDCA 実践報告 「理想の自分」 設計図精度向上 楽しい宿題！	【プレゼン テーション】 プレゼンテーション 大会 研修報告記入 表彰・講評
月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()
【実践報告会1】 G-PDCA 実践報告 今後の作戦検討	【実践報告会2】 G-PDCA 実践報告 今後の作戦検討	【実践報告会3】 G-PDCA 実践報告 今後の作戦検討	【実践報告会4】 G-PDCA 実践報告 今後の作戦検討	【実践報告会5】 G-PDCA 実践報告 今後の作戦検討	

- ※ 研修と研修の間に、「実践報告会」をオンラインで開催します。初回は講師がファシリテートしますが、2回目以降はチームごとに開催し、各チームのリーダーに主体的にファシリテートしてもらいます。
(G-PDCAがうまく回ってないチームには都度講師が入り、できるようになるまで伴走します)
- ※ 研修回数は、上記は全6回で記載していますが、全4回での開催も可能です。その場合は第4～5講を省きます。
- ※ 研修時間は、1講あたり4時間、実践報告会は1回1時間となります。(応相談)

4タイプのジンザイ

人財

期待を超える志事をする人。
会社にとってなくてはならない
財産。宝物。自燃人。

人材

期待を満たす仕事をする人。
会社にとって佳き**材料。資源。**
可燃人。

人在

期待を下回る作業をしがちな人。
会社にいる(在る)のはいいが、
それだけの人。不燃人。

人罪

周りの人のやる気を削ぐ人。
いること自体が罪な人。
消燃人。

資質・能力 三本柱

社会で
求められる力

社会人
基礎力

学習指導要領
3つの柱

幼児期に
育てほしい
10の姿

保育
5領域

専門性

専門知識

専門的な知識,技能,資格

基礎学力

読み,書き,算数,基本ITスキル

考え抜く力

課題発見力,計画力,創造力

生きて働く
知識・技能の習得

何を理解しているか、
何ができるか

数量・図形、
文字等への
関心・感覚

言葉による
伝え合い

言葉

主体性

専門知識・基礎
学力を活かす力

前に踏み出す力

主体性,働きかけ力,実行力

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・

表現力等の育成

理解していること・
できることをどう使うか

健康な
心と身体

自立心

思考力の
芽生え

豊かな
感性と
表現

健康

表現

人間性

人間性

基本的な生活習慣
思いやり,公共心,倫理観、
基本的なマナー,身の回りの
ことは自分でしっかりやる

チームで働く力

発信力,傾聴力,規律性

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・

人間性等の涵養

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

協同性

道徳性・
規範意識
の芽生え

社会生活
との関わり

自然との
関わり・
生命尊重

人間
関係

環境

人財育成五元論™ ④ 志

Mission
理念・国是

未来

目標 Vision

③ 専門性

Skill
学習

① 主体性

Independence
原則

② 人間性

Moral
実践

現在

分析 Analysis

⑤ 歴史

History
自分史・社史・国史

過去

三間の法則 <職場の三原則>



「生きとし生けるものは、時間、空間、人間の三間を離れてこの世に存在することはできない。
この三間を大切にし、整えていくことこそ、現場を再建する三大原理」（森 信三師）

⑨ 地域

社会貢献

理想の部門

～設計図を描く～

⑨ 理念

理想の会社

⑧ ニッチトップ目標

長所伸展

※ 参加者の所属により、
「部門」ではなく、
「会社」「事業部」「チーム」
として検討してもらいます。

人財育成目標

⑦ 主体性

⑥ 人間性

⑤ 専門性

⑦ 原則

価値観
判断基準

① 現在

○ 強み
× 弱み

④ 原点

あきらめない理由

② 顧客

ニーズ・理想-現状

③ 競合

業界動向

「理想の部門」マンダラシート

7 主体性（目指す人財像）

○ スタッフの行動の基盤となる原則（価値観・判断基準）は？

6 人間性（目指す人財像）

- ① 人間関係活性化（挨拶・返事・感謝・笑顔・プラス言葉・傾聴など）は？
- ② 空間美化（職場環境整備、整理・整頓・清掃など）は？
- ③ 時間管理（5分前行動、事前準備徹底、働き方改革、残業減など）は？

5 専門性（目指す人財像）

○ 専門知識・技能・スキル・資格は？

資質能力三本柱

「目指す人財像」

8 目標（わが社の将来）

- ① 3年後どんな会社になりたいか？

ギャップ分析
この分野なら
「理想と原点」

9 理念（理想の未来）

- ① わが社は何のために存在するのか？ 実現したい未来は？
- ② 以上を一言でいうと？

4 創業（わが社の原点）

- ① わが社の創業の想いは？
- ② 社史を彩る大切な出来事は？

1 自社（現状理解）

○ わが社の強み（いいところ）は？

3C分析
弱み（ダメなところ）は？

「三方よし」

2 顧客（わが社は誰のために存在するのか）

- ① 現状のお客様像は？
- ② 理想のお客様像は？

3 環境（わが社を取り巻く環境）

- ① この地域や業界の動向は？
- ② わが社の競合は？
- ③ 競合の動きは？

理想の自分 ～生きる力～

① 志

人生目的
Mission

② 目標

向こう3年間の
活躍計画
Vision

③ 原則

価値観
判断基準
Policy

④ 原点

あきらめない理由
Why

「ミッション・ステートメント」マンダラシート

7 私的成功「あなたはどんなことを実現したいですか？」

① 家族 ② 趣味 ③ 健康

8 公的成功「あなたはどんなことを実現したいですか？」

① 仕事 ② 教養 ③ お金

1 出会い「あなたの人生で、大きな出会い・出来事・気づきは？」(箇条書きでたくさん書く)

6 人格「あなたはどんな人になりたいですか？」
(人間性・専門性)

未来

9 原則「あなたの行動の基盤となる原則(価値観・判断基準)は？」(主体性)

現在

2 感動「あなたの人生で最高に嬉しかったこととその理由は？」

過去

5 墓標「あなたは、あなた自身の葬儀で、大切な人たちから、あなたのことについて、どのように語られたいですか？」

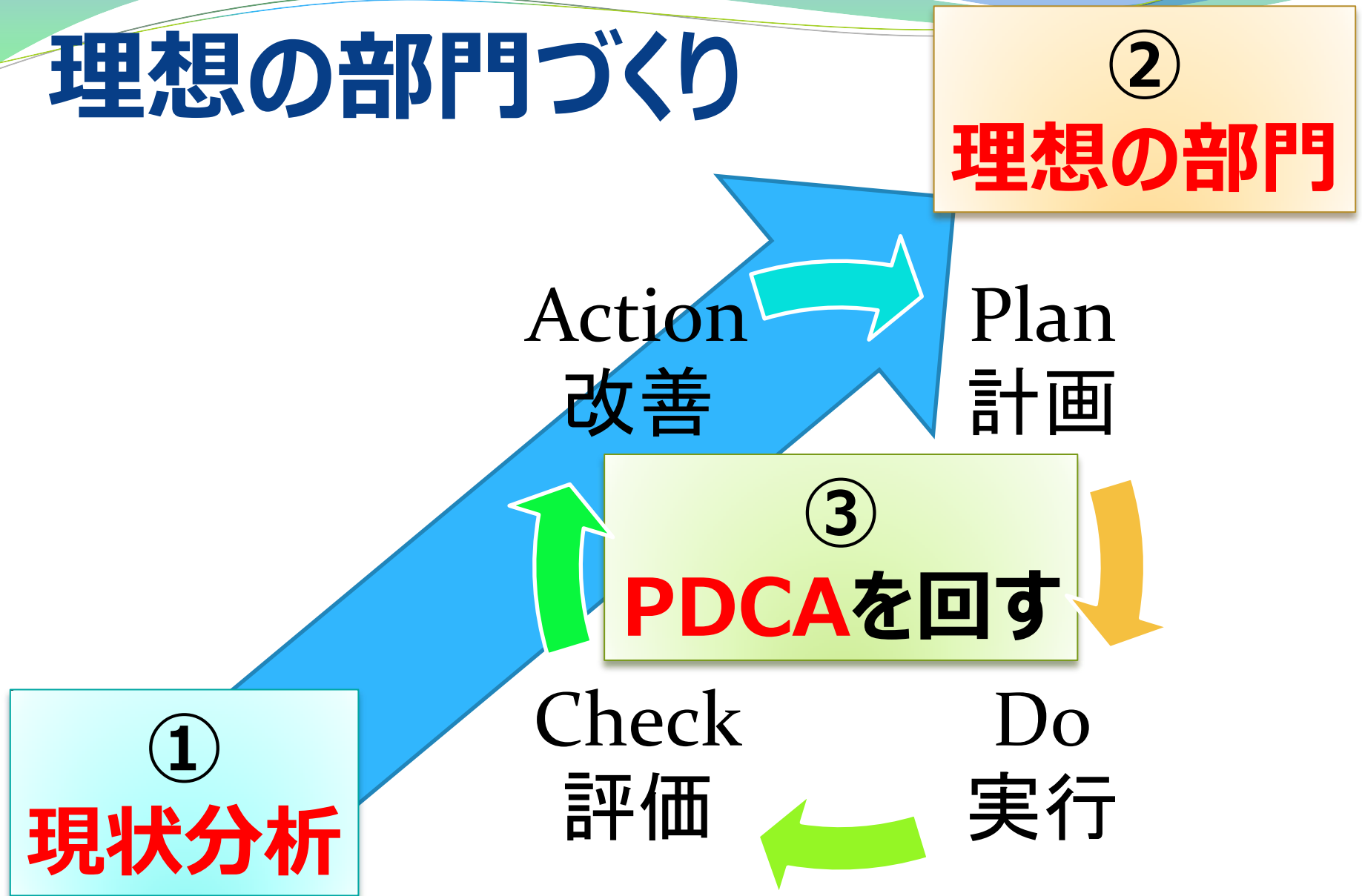
4 長所「あなたの長所や才能は？」(箇条書きで、30つ以上目標で書く)

3 苦難「あなたの人生で一番の苦難とその壁を突破した方法は？」

自分史

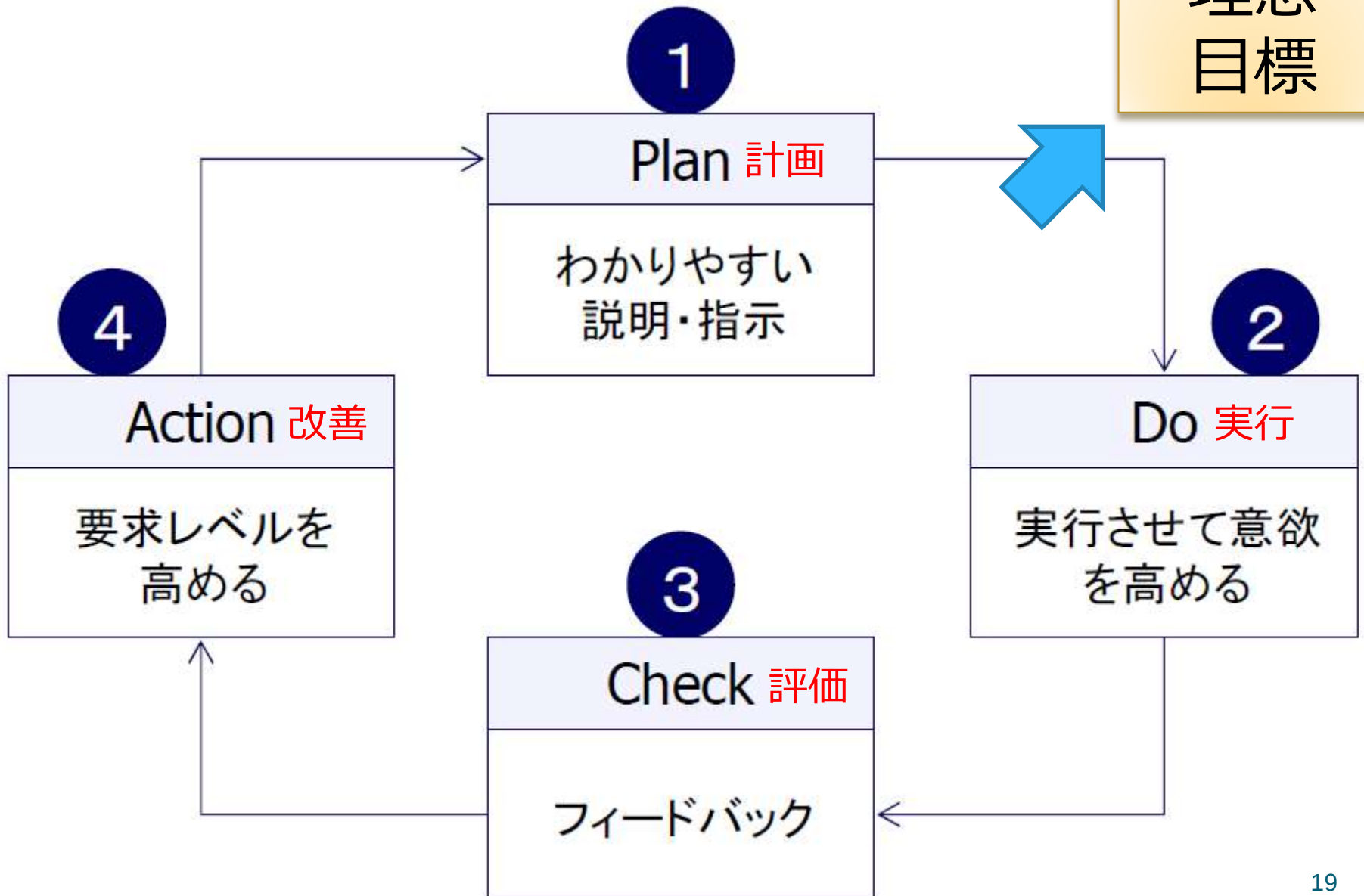
【自分史】		記入日：			年	月	日	所属：			氏名：		
		感情 +100 0 -100											
年齢	0 歳				歳				歳				歳
西暦	年				年				年				2019 年
タイトル													
出来事 出会い 気づき													
自らの個性 人生観 夢・志													

理想の部門づくり



G-PDCA

Goal
理念
目標



★

「理念」

」を実現するための進捗管理表

※評価→ ◎:達成(または予定通り進捗中) ○:達成(進捗)度80%以上 △:達成(進捗)度50%以上 ×:達成(進捗)度50%未満

目標 (Vision) 「何のために」(Why)	計画 (Plan) 「何を・どこで・どの程度・どうする」(What・Where・How many・How)	責任者 (Who)	期限 (When)	評価 (Check)	振り返り・改善 (Action)
<u>5 W 2 H</u>					
Why	何のために				
What	何を				
Who	誰が				
When	いつ (いつまでに)				
Where	どこで				
How	どのように				
How many	どれくらい (数値化)				

方向性一致



「理想の自分」

① **志**
人生目的
Mission

⑨ **地域**
社会貢献

② **目標**
向こう3年間の
活躍計画
Vision

③ **原則**
価値観
判断基準
Policy

④ **原点**
あきらめない理由
Why

「理想の会社」

⑨ **理念**
理想の会社

⑧ **ニッチトップ目標**
長所伸展

人財育成目標
⑦ 主体性
⑥ 人間性
⑤ 専門性

⑦ **原則**
価値観
判断基準

① **現在**
○ 強み
× 弱み

④ **原点**
あきらめない理由

② **顧客**
ニーズ・理想-現状

③ **競合**
業界動向

学習の4段階

理想の
部門

④ **無意識有能**

無意識でもできる

③ **有意識有能**

意識すればできる

② **有意識無能**

知っているができない

① **無意識無能**

知らない



プレゼンテーション大会!

Before ⇒ After ⇒ Future



プレゼンテーション大会！

■ テーマ

わが社の「成長物語」の発表！

※ チームで発表する場合の事例
(個人発表もちろん可能)

① Before (過去)

わが社は昔、こうでした。

② After (現在)

その会社が、こんな感じに変わってきました。

③ Future (未来)

だからこそ、これからこんな会社をつくっていきます！

■ お約束

- 発表時間：1チーム10分
- みんなで作って、みんなで発表する（1人だけで発表はNG）
- 準備物は、PPT、模造紙、画用紙、その他なんでもOK
- 全員で採点し、最優秀チームを表彰します！

研修報告書

各チームの発表内容がとても充実しており、時間が過ぎるのがとても早く感じました。この発表会を転機に大きく会社が変わるかもしれない期待が持てるような素晴らしい一日になりました。今後、この熱量を失うことなく、挑戦、変化し続け、さらなる成長を目指すことが大きな飛躍につながると確信しております。

各チームの発表内容については、チームワークを高めるような内容が多かった印象があります。人は、自己犠牲により仲間や家族、時には他人にすら手を差し伸べることができ、それを美德と感じることができる生き物です。人がスポーツ等の集団行動に見られるチームプレーに心を打たれるといった感情は、最も美しく、今回の発表会にも同様の感情を感じることができました。

まだ始まったばかり、課題は山積み、難しいのはここからですが、まずは、良い年越しを迎えられそんなことを喜び、来年のさらなる成長を期待し、前向きに2020年を締めくくれることに感謝したいと思います。入江先生も短期間でのプログラムということで難しいところが多々あったと思いますが、最後までご尽力いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2. この研修で特に大切に感じた学び

今回の発表会で特に感じたことは、「やればできる」ということです。発表会なんてうちの社員ができるのか、ハードルが高いのではないかといった思いが、前回研修が終わった時点では大部分を占めていました。しかし、当日が近づいてくるにつれて、発表資料が私の手元に集まるようになり、内容に目をおしていると、その思いは次第に薄れていきました。逆に、自分のプレゼンに対してプレッシャーを感じてしまい、ここまで緊張するプレゼンは久しぶりで、初心を思い出すことができました。

信頼と委任は部下の成長だけでなく、上司の成長にもつながることを実感させられる、よい経験でした。

3. 今までの自分を振り返っての分析

社長のプレゼン中に、「一番じゃなきゃダメに決まっている」とのメッセージがありました。私はこれまで、何かで一番になった経験がほとんどありません。今回研修での自分史作成における自己分析の結果、私を一言で表すと「謙虚」という結論に至っていました。一番になった経験が無いものの、受験や就職といった節目では無類の強運を発揮し、身の丈に合っていないレベルのコミュニティーに属することで、常に負けからのスタートであったことが現在的人格形成に大きく影響しているのではないかと分析をしていました。謙虚であることを私の長所として捉えることで、どこかの職員さんみたいに、別に一番でなくてもいいのではないかと考えになりがちでした。

多分ダメなのだと思います。多分というのは、全部必ず一番をとる必要はないと今でも考えているからです。しかし、ここだけは譲れないところの勝負では必ず勝つ、勝つための努力は惜しまないという気持ちで、成長を続けていけるようになりたいと今回の研修をとおして考えるようになりました。

4. 今後どんな自分になっていきたいか

上述のとおりです。

5. 実践すること

前回同様となりますが、今回の研修を通して得られたすべての学びや気づきを継続実践し、習慣化し、血肉になるまで繰り返していくためにはどうすべきかを考えていきたいと思っています。

研修報告書

1. 感想

研修全体を通じて自分の中で何か変わったのかを振り返るとまず、相手は変えられない、自分ばかりは変わるしかないという事実が気づけたことが一番大きかったと思います。自分の中で変化をおこして、必ずやりとげる意志をもつ、このための仕事とメンバーに向き合っていくと思っています。

2. 今までの自分を振り返っての分析

「しょうがないとかムリ」とかの言葉をつかって、問題に自ら当たる事から逃げていたと思います。自分の行いとメンバーの行いは別物であると考えて、自分まで頑張るといけば良いと考えていました。

3. 今後どんな自分になっていきたいか

まずは自分が変わる事。人のせいにしてない、うまくいかないときに言い訳をせずに、問題に真正面から当たる人になりたいです。自分もそのような変化をメンバーに見せてメンバーの心を少しでも動かせるような人になりたい。

4. 今から実践すること

自分の中で決めたルール(簡単なところではあれですが)は何かあってもやるのが難しい所では判断に迷ったときには自分にとって困難な選択肢を選ぶことを何かあってもやりつづける事。土井歳三のようにせうたいに心を曲げない人でありつづけるように努力していきたいです。

オンラインセミナー受講者さまの声

「大変学びが多かったです。様々なモデルや具体的な手法や、先生のご経験からのベストなやり方を紹介していただき、ありがとうございました。今後ぜひ活用させていただきます。」

「内容はもちろんですが、入江先生の話し方、表情、熱感がとても素晴らしかったです。自分も人に教育を行う立場の人間なので、全てが参考になりました。」

「人財育成五元論など、重要なポイントが整理されていてわかりやすかったです。アウトプットがなければ何も変わらない、ということも肝に銘じないといけないと思いました。」

「人間性が重要だということ、そのためには実践の継続が重要だということ、主体性は原則、志を持つことということに感銘を受けました。」

「個人的には部下のエンゲージメントの向上が課題ではあったので、今日学んだことをぜひ実践に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。」

「大変勉強になりました。命の時間を投資した価値が十分にありました。」

「講師の入江先生のお人柄・振る舞いが、とても心地よい研修の受講環境を創られていたと強く感じました。講師の「在り方」の大切さを学びました。人財育成五元論は、体系化されていて勉強になりました。ありがとうございました。」

「理論建てが明確だけでなく、身近なライン（個人レベル）にまで落とし込んで話を展開していただいたのでとても分かりやすく、「肚落ち」しました。なぜ「人材育成が重要なのか・取り組んだ方が良いのか」について納得できました。」

「大変面白かったです。わかっていると思っていることでも、実際に手を動かしてみると、思いつくことも多いので、やってみることが大事ですね。また、皆さんと一緒にワークをするのも、とても刺激的で楽しかったです。」

「人材育成は考える事が多いテーマではありますが、色々な事例・多数のブレイクアウトセッションで他の方と意見交換ができ気づきが多かったです。入江講師の説明・テンポも分かり易く有意義な時間でした。」

概算御見積書

【御見積条件】

- 4時間×全6回講義（集合型もオンラインも可能）
- 研修会と研修会間の実践報告会への講師同席（オンライン）：無制限
 - 受講者同士で主体的に実践報告会を回せるようになることが目標のため、ずっと同席することは考えていませんが、できるようになるまで伴走します。だから必ずできるようになります。成果保証します。
- 受講者：20名以内
 - 一人ひとり全員がわかりあえる人数内を想定しています。もちろん20名超でも研修できますが、その場合はご相談ください。

【概算御見積額】

- 別途御見積いたします。

ご検討ありがとうございます

ご縁つなぎ特典！

「人財育成の教科書」メールセミナー

本のダイジェスト版として
「人財育成」「選ばれる会社のつくりかた」
に関するメールを、7日間連続で、
「無料」でお届けします。

ご希望の方は、こちらから登録くださいませ。

<https://kandokeiei.com/fx/BcMrSa>



「人財育成の教科書」ご購入特典！

本書239ページから、
三大ご購入特典をダウンロードできます。
ぜひ！入手くださいませ。

<https://amzn.to/2DngbVu>



※ 登録したにも関わらず、万が一特典が届かない場合、ご連絡ください。

g-irie@irie-kando.com または facebookメッセージ